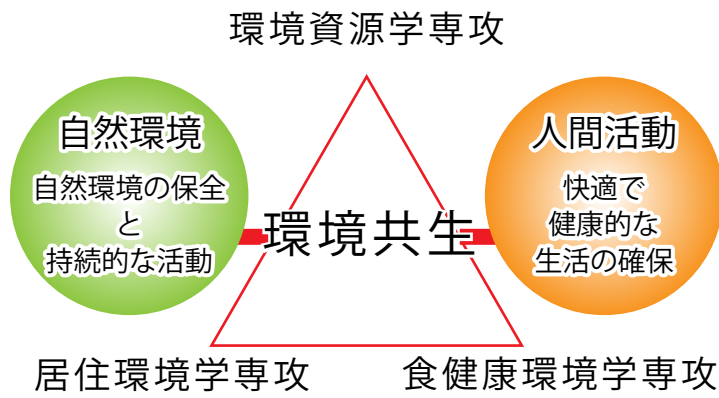




環境共生学部環境共生学科は、**自然環境と人間活動との共生のあり方**について教育・研究します。

- ・環境共生に係わる諸問題を総合的に捉える。
- ・人間活動を支える場としての豊かな自然を保全しつつ、持続的に利用し、地域住民の快適で健康な生活を確保する方策を追求する。
- ・地域の発展と人間福祉の向上を目指す。



環境共生に係る学際的で総合的な教育を行います。
「環境共生論」や「持続可能な開発と教育」など、領域横断的な内容で構成される科目を設定しています。

教職課程の充実を図ります。

すべての専攻にわたって理科、家庭科、農業の教員養成を行い、加えて食健康環境学専攻では栄養教諭の教員養成を行います。環境共生型社会の創造に貢献できる教員、持続可能な社会づくりの担い手を育てることができる教員を養成します。

SDGs 達成に貢献します。

それぞれの専攻の専門的学術研究を生かしつつ、領域横断的な幅広い視点に立って、持続可能な社会の構築に貢献することを目指します。

※SDGs：Sustainable Development Goals：2030 年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」



	環境資源学専攻	居住環境学専攻	食健康環境学専攻
一般選抜・前期	15 名	20 名	28 名
一般選抜・後期	12 名	12 名	8 名
自己推薦型選抜		4 名	
特別選抜・学校推薦型選抜	3 名 ※うち 2 名以上は県内生	4 名 ※県内生のみ	4 名 ※県内生のみ
特別選抜・学校推薦型選抜 (農業・林業・水産科)	若干名		

※最新情報は大学ホームページでご確認ください。
<https://www.pu-kumamoto.ac.jp/>



	【就職】	
環境資源学専攻	居住環境学専攻	食健康環境学専攻
【官公庁】	【官公庁】	【官公庁】
農林水産省	熊本県庁	厚生労働省
林野庁	熊本市役所	熊本県庁
熊本県庁（化学・農業・林業・水産）	益城町役場 など	大分県庁
熊本市役所（農業・水産）	【ゼネコン・サブコン】	熊本市役所
高森町役場・山都町役場	大成建設（株）	八代市役所 など
日本郵便 など	五洋建設（株）	【教育】
【教育】	（株）銭高組	公立学校教員（家庭科、理科、栄養）
公立学校教員（理科）	（株）岩永組	加寿美学園熊本中央高等学校 など
真和高等学校 など	（株）富坂建設 など	【製造業】
【製造業（環境関係を含む）】	【住宅メーカー】	化学及血清療法研究所
（株）再春館製薬所	積水ハウス（株）	熊本製粉（株）
（株）同仁グローカル	ミサワホーム九州（株）	（株）タニタ
西日本技術開発（株）	住友林業（株）	日清シスコ（株）
（株）九電工	大和ハウス工業（株）	マルキン食品（株） など
九電産業（株） など	セキスイハイム九州（株）	【医療・福祉】
【卸売業】	新産住拓（株） など	熊本赤十字病院
（株）興農園	【その他】	熊本大学医学部附属病院
西川計測（株）	TOTO（株）	済生会熊本病院
（株）生科研	（株）イトーキ	鹿児島大学医学部・歯学部附属病院
（株）福岡九州クボタ など	（株）LIXIL など	福岡赤十字病院 など

	【進学】	
環境資源学専攻	居住環境学専攻	食健康環境学専攻
【県内】	【県内】	【県内】
熊本県立大学大学院	熊本県立大学大学院	熊本県立大学大学院
【県外】	熊本大学大学院	熊本大学大学院
九州大学大学院	【県外】	【県外】
北海道大学大学院 など	九州大学大学院	九州大学大学院
	九州工業大学大学院	福岡教育大学大学院
	鹿児島大学大学院	神戸大学大学院
	奈良女子大学大学院	奈良女子大学大学院 など
	横浜国立大学大学院	
	東京工業大学大学院 など	



熊本県立大学
Prefectural University of Kumamoto
環境共生学部

〒862-8502
熊本市東区月出3丁目1番100号
代表電話：096-383-2929
FAX：096-384-6765
<https://env.pu-kumamoto.ac.jp/>



環境共生学部 環境共生学科

環境資源学専攻



居住環境学専攻

食健康環境学専攻

熊本県立大学 環境共生学部は
平成30年度に20周年を迎え、
平成31年度から**1学科3専攻**
に変わりました。

各専攻の垣根を低くして、
高度な専門性を確保しつつも、
特定の専門分野にとらわれずに
柔軟性と高い意欲を備えた
人材を育成します。



熊本県立大学
Prefectural University of Kumamoto
環境共生学部

環境資源学専攻

本専攻は、地域の生態系メカニズムの解明や、人間活動が生態系に及ぼす影響の解析を通じた自然環境と人間活動との共生のための基礎的理論について教育・研究を行います。そのために、環境共生に関わる諸問題を科学的に解明し対処するための基礎的な自然科学の知識と理解力を養成し、併せて、生態系の仕組みや、人間活動が環境・資源に及ぼす影響を調査、解析、評価する能力を養成します。

【求める人物像】

- ①自然環境や生態系の保全について学ぶ意欲をもつ人
- ②さまざまな環境問題に興味がある人
- ③環境に関わる専門家をめざす人

【卒業研究】

環境資源学専攻には、10名の教員が配置されており、いずれかの教員の指導のもとで、3年生の後期から卒業研究を開始します。また、多くの学生が大学院に進学し、卒業研究をさらに継続・発展させています。研究のフィールドは、森林・農地、河川、都市、沿岸域、海洋など幅広く、また、研究の手法も生物学、化学、物理学と多岐にわたっています。きっと皆さん一人一人にあった研究分野に出会えることでしょう。



【取得できる資格】

- 中学校・高等学校教諭一種免許状（理科、家庭）
- 高等学校教諭一種免許状（農業）

【専攻カリキュラムで対応している資格】

- 環境計量士
- 公害防止管理者

【OB】 滋賀大学（准教授）



陸地、海洋、大気という広大な環境について、教室での講義だけでなく、仲間と一緒にフィールドでの環境アセスメントや最先端の機器による環境分析など多くの体験をとまなう実験・実習を行い、自然と人間との共生について深く考えることができた4年間でした。その中で、環境に関する専門性に加え、自ら課題を発見して解決する力を養うことができ、現在は、大学教員として「環境への負荷が少ない植物生産」や「学校での植物栽培による環境教育」について教育・研究を行っています。

森 太郎
2012年度環境共生学研究科
（博士後期課程）修了

居住環境学専攻

本専攻は、「環境共生」の理念を前提とした環境への負荷軽減、人間の健康・福祉などの視点を重視する居住環境とそのシステムのあり方について、実践的に取り組む教育・研究を行います。そのために、住居から建築・都市・地域に至る住環境の全体を見据え、実体験に基づいた科学的認識能力を養成します。また、居住環境の創造に役立つようなデザイン、計画、調整、構築に関する能力に加えて、関連する社会科学的知識を養成します。

【求める人物像】

- ①自然を利用し、人と地球にやさしい環境をつくる技術を開発したい人
- ②にぎわいに満ちた元氣な“まち”、自然豊かで美しい“むら”をつくりたい人
- ③快適な住まいや公共の建築物などの設計者をめざしたい人
- ④地震に強く美しい木造建築物・環境に配慮した建築物をつくりたい人
- ⑤建築士として働きたい人

【卒業研究】

居住環境学専攻には、居住空間計画分野、環境調整・設備分野、構造・材料分野、都市・地域計画分野の4部門、8つの研究室があります。4年生に進級すると、これまで受けてきた講義などから「このテーマについてもっと知りたい！この研究が気になる！」と思うものを見つけ出し、研究室を選びます。構造実験や環境計測、地域でのワークショップや調査活動、卒業設計など、自分らしさを発揮できる研究分野がきっとあるはずです。



【受験資格を取得できる資格】

- 二級建築士、一級建築士
- ※一級建築士の受験資格に関しては、所定の科目を修得する必要があります。

【取得できる資格】

- 中学校・高等学校教諭一種免許状（理科、家庭）
- 高等学校教諭一種免許状（農業）

【専攻カリキュラムで対応している資格】

- 建築施工管理技士
- インテリアプランナー
- 福祉住環境コーディネーター
- インテリアコーディネーター
- 色彩検定
- 照明コンサルタント

【OG】 熊本県庁（くまもとアートポリス）



大学では、講義で学ぶだけではなく、専門性を活かしながら地域課題解決する機会が多くありました。熊本地震の際は、仮設住宅に行き、自分たちができることを実際に形にし、入居者の方に喜んで頂きました。現在私は、熊本県独自の事業である「くまもとアートポリス」の推進、ユニバーサルデザイン建築物の推進、熊本地震発災後に建設された仮設住宅内の住環境整備に携わっています。大学で学んだ知識や、現場に行って得た経験は、幅広い業務の中で役立っています。大学で学んだ事を糧に、日々やりがいを感じながら大好きな熊本県のために働いています。

加悦 由樹
2017年度環境共生学部卒業

食健康環境学専攻

本専攻は、人と社会と自然との共生の視点から、自然環境にやさしく、地域の特性を反映した「食と健康」について教育・研究を行います。そのために、食・健康・環境に関連する課題に積極的に取り組んでいく能力を養成するとともに、管理栄養士を養成します。

【求める人物像】

- ①食・健康・環境にかかわる様々な課題に関心を持つ学生
- ②科学的、論理的思考能力を有している学生
- ③高等学校における教科に関してバランスのとれた基礎学力を身につけた学生
- ④理科（化学、生物）の科目について十分な学力を有している学生
- ⑤英語について幅広い素養を備えている学生

【卒業研究】

食健康環境学専攻は、3年次までに食環境分野と健康環境分野の科目を学び、4年次には学生が希望する専門性に応じた、食・健康・環境に関する卒業論文研究を行います。研究室内で行う研究だけでなく、フィールド研究などを行って、地域の自治体などと連携しながら行う研究もあり、研究に取り組みながら実践力を向上させることができます。



【受験資格を取得できる資格】

- 管理栄養士免許

【取得できる資格】

- 栄養士免許
- 食品衛生監視員（任用資格）
- 食品衛生管理者（任用資格）
- 中学校・高等学校教諭一種免許状（理科、家庭）
- 高等学校教諭一種免許状（農業）
- 栄養教諭一種免許状

【OG】



一般財団法人 化学及血清療法研究所
※2018/07/02 より新会社 K Mバイオロジクス株式会社
私が本専攻を選択した理由は、食と健康という人にとって身近で重要な要素に興味をもったからです。大学時代は授業やレポート課題も多く、とても忙しい毎日でしたが、幅広く専門的な知識を学ぶことができました。現在薬の研究開発に携わっていますが、大学の授業や実験で培った知識（分析、バイオ、統計学など）や論理的な思考は実験の計画・報告書の作成に活かされています。先生方との距離が近く相談しやすいこと、管理栄養士国家試験合格と一緒に目指して励まし合える仲間と出逢えること、そして、専攻全員の団結力の強さも本専攻の魅力です。皆さんも本専攻で充実した大学生生活を送ってみませんか。

中山 千晶（旧姓村上）
2014年度環境共生学部卒業